

米沢市の大会で大活躍

「第9回 兼続カップ」が5月21日・22日、山形県の米沢市営体育館で行われ、福島県から唯一招待を受けたひらたミバスケットボール少年団が出場し、見事準優勝に輝きました。

【大会結果】

- ・準優勝
- ・優秀選手賞 玉木 快奈さん
- ・応援賞
- ・フリースロー大会
- ・入賞 玉木 快奈さん
- ・コーチ部門 優勝



地元への感謝の気持ちを込めて奉仕作業

村内の9社で組織する平田建設業協力会による道路環境保全の奉仕作業が6月1日、村内の主要幹線道路や生活道路を対象に行われました。これは地元住民への感謝と安全で快適な道路機能維持向上を目的に毎年取り組んでいるものです。

作業当日、役場で行われた出発式では、鈴木徹会長が「感謝の気持ちを含め、丁寧な作業を行ってください」と挨拶を述べました。

雨が降る中の作業となりましたが、各社バックホウやホイールローダー等の重機を持ち込み、道路両端や水路の土砂撤去作業等を実施しました。



7年ぶり!! 農業体験ツアー開催!!

むら自慢づくり30人衆委員会主催による都市農村交流事業が5月27日、九生滝と駒形地内で開催されました。



20年前から交流のある埼玉県川口市幸町一丁目会の子供会が7年ぶりに来村し、アスパラガスの収穫体験と田植え体験を行いました。

子ども達は「お米作りを体験できて楽しかった」と話し、たくさん笑顔あふれる体験ツアーとなりました。



花と緑いっぱい ふるさとづくりプロジェクト

「ふくしまを花で飾ろう『市町村の花』の花壇プロジェクト」完成セレモニーが6月6日、道の駅ひらたで行われました。

このプロジェクトは、福島民友新聞社、県森林組合連合会などで組織する実行委員会が主催し、全国植樹祭（平成30年に南相馬市で開催予定）に向けて、県内全市町村を巡っており、本村で7か所目となりました。

セレモニーでは、県の花のネモトシヤクナゲと村の花タンポポなどを植えました。

また、小平こども園の代表4人が元気いっぱい「花いっぱい街づくり宣言」を行いました。



上段左から：高野哲也駅長、蓬田榮男副村長、澤村和明村長、福島民友新聞社の菅野篤取締役郡山総支社長、産業振興室の生田目好男室長、荒川勝吉指導員

下段左から：竹田徠人ちゃん、芳賀虎哲ちゃん、渡邊希咲ちゃん、會田莉音ちゃん

高校等通学支援金で子育てを支援します

第5次平田村総合計画の重点プロジェクトに「平田村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業を位置づけ、この中で「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」ために「子育ての負担感」が軽減できる取組を進めることとしており、今年度から子育てに関する追加の支援策として「高校等通学支援金」を創設しました。

■高校生の定義

村の住民基本台帳に記録されている者のうち高等学校、高等専門学校（3学年在学者まで）、特別支援学校高等部、専修学校高等課程などに在学する生徒

■受給の資格 ※通学手段は問いません

本村に住所を有する当該支給対象児童、生徒の保護者で高校等に通学する高校生を養育し、かつ、村内に6か月以上住所を有すること。

なお、次のいずれかに該当するときは、祝金等を支給しない。

- (1) 支給対象者及び支給対象児童、生徒が村外に転出（支給対象生徒が寮生活その他集団生活上やむを得ない場合を除く。）したとき。
- (2) 高校生が中途退学、休学、停学またはその他の理由で通学した月がない場合は、月割りにより減額して支給する。
- (3) その他村長が祝金等を支給することが適当でないと認めたとき。

■支給額 年額6万円（÷12月＝月額換算で月5千円）

■申請 ※9月と3月の2回に分けて申請していただきます。

高校生が在学している期間の9月末日及び3月末日までに申請書を村長に提出しなければならない。

申請例（減額理由がなく通学した場合）

- ・9月申請：平成29年4月～平成29年9月分（6か月）×5千円＝3万円
- ・3月申請：平成29年10月～平成30年3月分（6か月）×5千円＝3万円

※該当すると思われる年齢の対象者には8月頃に個別通知をする予定です。なお、申請の際は、在学していることを証明する書類（在学証明書）の添付が必要です。